

令和8年度

「運営に関する計画」

目標設定

大阪市立長吉南小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【安全・安心な教育の推進】**

昨年度、運営に関する計画で指標とした以下2つの項目について、校内での「児童アンケート」最終結果(12月)では目標を達成することができなかったが、学力経年調査(3年以上対象)での自己肯定感に関する項目については、目標水準に達成することができた。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」最終⇒児童アンケート88%(目標92%)学力経年調査82.7%(目標86%)

○「自分にはよいところがあると思いますか」最終⇒児童アンケート82%(目標88%)学力経年調査78.9%(目標78%)

3年生以上の「大阪市学力経年調査」で、自己肯定感が高位であったことは、中・高学年での自尊感情の形成や人間関係の構築へのよい影響が期待できる。仲間意識が高まり人間関係が複雑化する高学年に備え、各児童の「学校への期待」や「自尊心や自信」を高める教育に努めていきたい。

本校の児童は、素直で与えられた課題に対し真面目に取り組める。また、互いに優しく思いやることもでき、他学年の児童同士も仲良く過ごしている。児童のよさをさらに高め維持できるよう、今後も、縦割り班や異学年の交流を多くし、楽しさや充実感を感じさせるとともに、思いやりの心を深める活動内容を工夫する。特に、中・高学年の児童には、自己肯定感を高め積極的に行動できる自信とリーダーシップ力を高める取組の工夫に努める。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校では令和6年度、国語科の説明文を通して研究を深めた。求められている「協働的な学習」「主体的対話的で深い学び」の力を育成するため、ともに学び合う活動を積極的に取り入れてきた。また、前年度の結果をもとに学力経年調査に向けた対策期間を設けた。子ども達の学びへの姿勢は常に真面目で、与えられた課題に一生懸命取り組んでいる。

しかし、各学力調査の結果、目標を達成することは難しかった。学習内容の習得について、毎回の分布の結果から、低位と上位の格差が大きくなっていることも分かってきた。

課題である基礎的学習内容の習得を確実にするために、既習内容の反復や自主学習・家庭学習の習慣化をめざす。また、授業改善や学習端末を含む学習教材の工夫により、さらに分かりやすい授業と個別支援の充実を図りたい。

運動に関しては、すべての学年で「運動が好き」と回答する児童の割合が低下しR7年度12月の児童アンケートでも、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答が87%となり、目標値には達しなかった。楽しみながら意欲的にスポーツや運動ゲームに親しみ、様々な基礎的運動能力を身に付けられる活動の工夫を行っていく。

体育の授業の中で、目標をもって学習に取り組み、達成する喜びなどを味わわせながら、運動やスポーツすることを好きと思えるような継続的取組を学校全体で進めていく。

【学びを支える教育環境の充実】

端末を効果的に使用する授業や朝学習など、さまざまな場面における端末活用の工夫を今後も継続する。また、Navima 以外でも teams を用いたグループ活動や動画視聴、発表資料作成など、児童の端末活用力を高める取組を導入する。

昨年度 11 月より毎日端末の持ち帰り学習を行っているが、端末の携帯忘れが課題である。端末を使った活動の多様化や家庭学習への活用で、毎日の活用率を安定させることが、端末活用学習の習慣化を図る指標になると考える。

PTA・地域の理解を得ながら、ゆとりの日や学校閉庁日を目標通りに実施していく。（ゆとりの日は週に 1 日、学校閉庁日は夏季休業・冬季休業合わせて 9 日実施）

日頃の出退勤の時間を意識しながら、真に働きやすい環境を整備する必要がある。また同時に働きがいを感じられることが重要である。

職務遂行の責務と負担軽減のバランスを取りながら、働きやすい職場環境の整備、心身の負担を軽減し心地よく働ける職場環境など、教職員のウェルビーイングに向けて工夫と改善を行っていききたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上にする。（R7 82.7%）
- ② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。（R7 78.9%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1ポイント向上させる。
（R7 現6年 -1 現5年 -15.1）
- ② 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 73%以上にする。（R7 70%）

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 55%以上にする。（R7 53%）
- ② 教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、1 か月の教員の時間外勤務時間 4 5 時間以下を 90%以上にする。（R7 89%）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。(R7 82.7%)
- ② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。(R7 78.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
(R7 現6年 -1 現5年 -15)
- ② 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」を回答する児童の割合を71%以上にする。(R7 70%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を53%以上にする。
- ② 教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、1か月の教員の時間外勤務時間45時間以下を90%以上にする。(R7 89%)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立長吉南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。(R7 82.7%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。(R7 78.9%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に課題やめあてを見つけ、積極的に取り組む児童会活動(運営委員会)を工夫する。 たてわり班やペア学年・隣接学年・全学年など、様々な異学年での交流と仲間づくりを目的とした活動を月2回以上行う。 いじめアンケートは隔月で行う。2学期以降は実態に応じて実施回数を検討する。アンケートの結果について問題の大小を問わず事実を確認し、いじめの早期発見と早期解決を徹底する。 各学期初めに「長吉南小学校の生活」(学校のきまり)を各学級で確認し理解を深め、進んできまりを守ろうとする態度を育てる。また、学期途中には、全校朝会や集会などの機会に学校のきまりを守ることの大切さを繰り返し周知する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を89%以上にする。(R7 88%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級で朝の会や終わりの会を活用し、週2回以上学級でいいところ見つけを実施する。また、子ども同士だけでなく、指導者も子どもたちのよいところを伝え、自尊感情が高まる機会を増やす工夫を行う。 指導者が子どもの頑張りが見える作品や学習掲示を積極的に行い、自己肯定感を育み、子ども同士が自然に褒めあえるような安心感のある学級づくりをめざす。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R7 83%) 	
年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況	

次年度への改善点

大阪市立長吉南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 (R7 現6年 -1 現5年 -15)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。(R7 70%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究教科である国語科における学習方法の工夫を進め、文章を正しく読み取る力、目的に応じて文章を簡潔に書く力の育成を図る。 ・昨年度の小学校学力経年調査の結果から「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率を向上させる取組を進める。 ・基礎学力の向上を図るため、習熟度別少人数授業を進める。効果的な学習方法やサポーター配置の工夫により、個に応じた指導・支援を充実させる。 ・自主学习ノートの指導を通して、学習への意欲を高め、家庭学習の習慣化と学び方の習得を図る。 ・視写の取組では書くことにより、基本的な文章構造や言い回しに触れさせることを通して、読解力・文章力の土台づくりや自ら学ぶ態度を養う。 ・学習活動において常日頃から、積極的に辞書を活用させる。 ・課題に対して効果的な授業や教材教具・学習方法の工夫(ホワイトボードの活用)を重ねるとともに、ICT機器を効果的に取り入れ、個に応じた指導・支援を行う。 ・校内研究を深めながらティーチング・エンパワーメント事業とも連携して、授業改善と分かりやすい授業の工夫に努める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート「学習したことがよくわかる」の肯定的な回答を88%以上にする。 (R7 87%) ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 (R7 現6年 -1 現5年 -15) 	

<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級でみんな遊びなどを取り入れ、運動に親しめるようにする。 ・学校全体で持久力向上につながる「かけ足運動」や「なわとび運動」に取り組む。 ・「みなみ体操」の取組や活用方法について、さらに工夫する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7 87%) 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立長吉南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ① 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を54%以上にする。(R7 53%) ② 教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、1か月の教員の時間外勤務時間45時間以下を(平均)90%以上にする。(R7 平均89.5%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ・タブレットを用いて、週2回以上宿題を出したり、連絡帳を提示したりする。 ・週1回以上、朝学習や、家庭学習でタイピングに取り組む。	
指標 ・学校アンケート「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を50%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員が働きやすい環境を整備し、長時間勤務の解消を図る。	
指標 ・教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、1か月の教員の時間外勤務時間45時間以下を(平均)90%以上にする。(R7 平均89.5%)	
年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況	
次年度への改善点	